

クロム活用シート

3年 社会科

1. 単元名『火事からくらしを守る』
2. 本時の評価規準 消防施設の配置の工夫について考え、火災から人々を守るために計画的に配置されていることを知ることができる。

【知識・技能】

3. 指導計画

	学習活動	ICT活用場面
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・「消」のマークが入った辰口の地図を見て、自分の学校の周りにもたくさんの消防施設があることに気づく。 <p>私たちの町にはどのような消防施設があるのかな</p>	<p>A1</p> <p>辰口の地図を拡大して映し、全体で消火栓の場所を確認した。</p>
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・消防施設とは何かを知り、自分たちの町にもあるのかどうかを、Googleマップのストリートビューで調べる。Googleマップでは、自分の町を検索し、ストリートビューでさまざまな道を進み、消火栓や防火水槽などを探した。 ・自分の町にどんな消防施設があったかを、画面を見せながら発表する。 ・家や学校にある消防施設を出し合う。(写真で確認する) 	<p>B2</p> <p>Googleマップを使って調べることで、実際に行かなくても、自分の町や友だちの町の消防施設について調べることができた。</p>
終末	<ul style="list-style-type: none"> ・消防施設についてまとめる。 <p>わたしたちの町には、早く火を消せるように、いろんなところに消火栓や防火水槽、避難できる公園がある。学校や家にも消防施設がある。</p>	

4. 情報活用能力（情報活用能力体系表より）

I	知識及び技能	I	情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能
		①	情報技術に関する技能
		d	インターネット上の情報の閲覧・検索

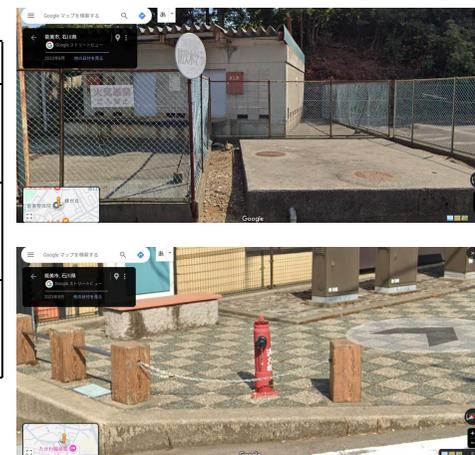
A1 教師による教材の提示

活用の流れ
辰口の地図を大きく映し、全体で消火栓の場所を確認する。

B2 調査活動：インターネット等による調査

使用するアプリ等 「Google マップ」

活用の流れ
① 学校の周りの消火栓を、電子黒板で全体で確認する。
② 自分の町をGoogleマップで検索し、消火栓の位置を調べる。
③ 違う町や市を検索し、どんな場所でも消火栓があるのかを確認する。



活用の効果

Googleマップを使うことで、実際に行かなくてもさまざまな町の消火栓を探ることができた。また、遠い町でも、実際に歩いているような気持ちで探すことができた。

Googleマップで見たことで、消火栓に興味を持ち、授業後に、ストリートビューで見た場所に実際に行って確認している児童も多かった。